



# 新羽小だより

令和5年(2023年)4月28日

第589号

横浜市立新羽小学校

Tel 543-8871 Fax 543-2915

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/nippa/>

## 学びの土台づくり

～きらきらスタート1年生～

校長 佐藤 恵子

4月20日、全校児童が校庭に集合し、「1年生を迎える会」を行いました。5・6年生の運営委員が中心となって会の企画と運営をしました。花のアーチをくぐって入場してきた1年生を、上級生が大きな拍手で迎え、会がスタートしました。各学年から新羽小学校を紹介するクイズが出題され、1年生から6年生まで、一緒に楽しむことができました。上級生代表のことは、1年生代表のことは両方とも堂々としてすば



らしく、頼もしさを感じました。2年生から1年生一人ひとりに手作りメダルのプレゼントがありました。メダルの真ん中には2年生が昨年収穫した朝顔の種が付いていました。新羽小学校で代々受け継がれていく朝顔の種です。今年はどうな色の花が咲くのでしょうか。とても楽しみです。

先日1年生の教室を見に行くと、給食の白衣の着方としまい方を練習していました。格好よく着られたかを、となりの友達が見てくれました。どうやったらきれいにたためるか思い思いに考えてたたみ、袋に入れます。「ふたつに折って、手(そで)を折って、くるくるってやると入るよ。」誰かがヒントを言っています。みんなで力を合わせて課題を解決しようと一生懸命です。給食の準備と後片付けは学級のみんで取り組む「学級づくり」活動の一つです。一人ひとりが役割を果たすことで協力することを学び、学級への帰属意識を高めます。4月は複数の職員が1年生の給食準備を手伝い、6年生が後片付けを手伝い、徐々に1年生だけでできるように見守りながら手を放していきます。1年生は「どうやったら早くうまく配膳できるかな。」をみんなで考えながら、だんだん上手になっていってほしいです。

小学校では、1年生の学習活動を計画する際、子どもたちが新しい環境に慣れ、6年間の学校生活を円滑にスタートできるようにさまざまな工夫をします。さらに、幼稚園・保育園・認定こども園などで経験した学びと育ちを基礎として、主体的に自己を発揮し、新しい学びへと向かえるようなスタートカリキュラムを組み立てます。子どもたちが安心して学習できること、幼児期に蓄えた力を発揮できること、自分で考え行動できるようにすることをねらいとしています。入学したばかりの1年生ですが、誕生して小学校に入学するまでの6年余り、さまざまな体験を通して、自分らしさや生きる力を身に付けてきました。初めての学校生活に最大の好奇心をもって臨んでいる1年生です。1年担任を中心に全職員が関わって、子どもたちの「どうして? なんだろう?」を積極的に採り上げ課題解決できる機会を設けたり、何事も始めから大人が教えるのではなく、子どもたちが自ら気付くように工夫したり、一人ひとりの思いを伝え認め合ったりしながら、6年間の学びの土台をつくっていきます。考えるスイッチをいつもONにして、自ら学ぼうとする気持ちを大事に育てていってほしいと思います。

